



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報 かみこあに

4月号
令和3年
No.747



かみこあに保育園入園式

4月5日、かみこあに保育園で入園式が行われました。今年度は、新入園児5名（令和2年度途中入園4名と令和3年度入園1名）を迎える、29名の園児でスタートします。

主な内容

2～3P

8～9P

10～11P

17P

主な出来事

令和3年度予算について
役場職員の配置について
公共施設の使用料免除について

上小阿仁村PRキャラクター
こあぴょん

(かみこあに保育園卒園式)

3月13日、かみこあに保育園の卒園式が行われました。

男子5人、女子3人の卒園児は、点呼に元気な声で「はい」と答えた後、原田園長から卒園証書が手渡されました。

原田園長が「ゆり組さんご卒園おめでとうございます。先ほどの卒園おめでとうございます。立派な証書を渡した時の元気な返事、立派な姿勢は、とてもかつこよかつたと思います。皆さんにはかみこあに保育園になつて15回目の卒園生です。みなさんは一人一人が個性的で、自己表現ができ、なんでもあきらめずに頑張つて挑戦できる子達でした。目標に向かってみんなで力を合わせて頑張つてください」と述べると卒園児たちは大きな声で「はい！」と返事をしました。



ランドセルを背負いワクワク



在校生へメッセージを贈る卒業生

(上小阿仁小学校卒業式)

3月16日、上小阿仁小学校の卒業証書授与式が行われ、男子6人、女子4人が6年間の小学校生活を終えました。

学生服とセーラー服に身を包み、

堂々と入場した卒業生たちは、吉田校長から卒業証書を受け取りました。

吉田校長が「10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この6年間で、皆さんは少し大人に近づいた考え方ができるようになつたと思います。授業中の発言内容や、様々な活動でのリーダーシップなど、人間力がかなりアップしたと感じました。皆さん10人が築いてくれた伝統を大事にし、5年生を中心とした、さらなる上小阿仁小学校にすることを約束します」と式辞を述べました。

卒業生は、新しい中学校生活への希望を胸に旅立ちました。



涙をこらえる卒業生

(上小阿仁中学校卒業式)

3月13日、上小阿仁中学校の卒業証書授与式が行われ、男子7人、女子9人の卒業生が学び舎から巣立ちました。

一人一人に卒業証書が手渡された後、吉田校長が「16名の卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。今日で9年間の学校生活が終わりました。小学校時代から皆さんをよく知つている先生は、この数年間の卒業生の中で一番成長した学年ではないかと言つていました。上小阿仁中学校を盛り上げてくれたことに感謝するとともに、たくましく、美しく、未来を拓く人間に成長することを心から祈念します」と式辞を述べました。

卒業生全員で「変わらないもの」「旅立ちの日に」を合唱し、16人の卒業生は、それぞれ向かって歩を踏み出しました。

卒業生は、新たな進路に向かって歩み出しました。

今後は、農林業等に関する技術開発・研究、人材育成や交流、環境保全に関する事項について、東京農業大学と連携し取り組んでまいります。

(上小阿仁村と東京農業大学との包括連携協定が締結されました)



握手を交わす東京農業大学 高野克己学長と小林村長
(サンルーラル大潟で開催された記念講演会 3月25日)

固定資産評価審査 委員会委員に 武石 誠氏を任命

3月定例会において、上小阿仁村
固定資産評価委員に、武石誠氏（羽
立）の任命が同意されました。



武石 誠氏
(羽立)



委嘱を受ける武石誠氏

任期は令和3年3月16日から令和
6年3月15日までです。

おりかさ あきひろ 折 笠 昭 宏隊員 (令和3年3月8日着任)



趣味

ハイキング、盆踊り、スキー、
テニス、ギター

村の印象

山に囲まれた、空気も水も食
べ物も美味しい村

し気都ま住ん3月8日から上小阿仁村の地域
たおこし協力隊員として着任しまし
た、折笠昭宏です。育ちは茨城県、
生まれは横浜市、上小阿仁村に来るま
で埼玉県に住んでいました。関東内
であります、複数の場所で住んだ事で、
都市と地方の両面を知れたような
事がします。茨城で一番長く過ご
していった事もあり、小さい頃から

学生時代から地域の方と関わる機
会が多かつたようになります。環境
問題を地域の子供たちに教えたり、
商店街のイベントの支援をしたり、
直売所の広報活動をしたりと、良い
経験をさせて頂きました。地域おこし
協力隊については以前から知つていて、ゆくゆくはこうい
った活動もしてみたいと思つてい
ました。そんな中、コロナ禍になり、
首都圏はリモートワークが普通にな
り、友人などもオンラインで会うよ
うになり、東京周辺にいる必要性が
無くなつていきました。そこで地
方へ移住する手段を色々と考え
ました。自然も多くて山が近く、自分
の経験が生かせそうで、興味のある
地域・環境・農業分野に携われそう
な地のことを知りたい、な地域へ向
けた活動を始めたところです。



委嘱状を受け取る折笠氏

自然豊かな里山の風景に慣れ親しん
できました。家族旅行で東北地方を
訪れる機会も多くあり、とても親し
みがありました。大学、大学院では環境問題につい
て学びました。失われていく里山の
自然と人の活動との共生について考
えさせられる授業が多かったです。卒業研究では、主に大気汚染につい
て研究していく、野外調査や測定などをしていました。

地域おこし協力隊については以前
から教わったが、着任してからも教わ
ります。最後になりましたが、着任して
間もなく、まだ至らない点等あるかとは思
いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
お勧めの場所や景色などあれば
教えてほしいです。食べる事も料理
も好きなので、名物や郷土料理も教わ
りたいです。沖田面集落内で暮らしています
ので、見かけた際にはお気軽に話
しかけて頂けると嬉しいです。

はじめまして、地域おこし協力隊です!!

施政方針

令和3年3月上小阿仁村議会定例会の開会にあたり、諸議案のご審議並びに、村政全般の運営について、村民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を願い申し上げます。

秋田県出身の菅義偉内閣総理大臣は、施政方針の中で、国民の「安心」と「希望」を一貫して追い求めてきましたと演説しました。

その中で、国民の命と健康を守るために、世界で猛威をふるい、深刻な状況になつてゐる新型コロナウイルス感染症を一日も早く収束させ、「安心」な生活を取り戻すこと。

また、2050年までに二酸化炭

素の排出量をさまざまな手段で相殺して排出量を実質ゼロにすること。

環境対策は経済の制約ではなく、社会経済を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、産業構造の大転換と力強い成長を生み出すこと。

そして、二酸化炭素の吸収サイクルの早い「森づくり」を進めることなどを力強く述べております。

村は、過疎地域自立促進計画を村の総合計画として、事業実施をして

おります。

総合計画には、全国的に問題となつてゐる少子高齢化による人口減少に対応する村の課題や施策を盛り込みました。

基本的な施策として

1. 健康長寿
2. 教育の充実
3. 雇用の拡大

を、重層的に住民サイドの目線と立場に立つて、総合的に推進していくものです。

日本の人口が減少し、減少率は秋田県が全国一で、上小阿仁村が秋田県一となつております。

人口問題は、村の最大の課題であり、それを村の施策によって克服できれば、ひいては、秋田県や日本が救われることになると思つております。

このため、村の総合計画に基づく着実な事業実施が求められます。

健康長寿については、新型コロナウイルス対策を講じながら、経済が停滞しないようにするものです。

高齢者や身体の弱い人が、万が一

感染すると命に係わる重大なものであります。新型コロナウイルスワクチンの予防接種や各種の予防接種を徹底するとともに、特定検診等による健康診断で病気の早期発見早期治療を推進するものです。

肉体的精神的な健康増進のために、公共施設利用料金の見直しを行い健康増進と施設の利用拡大を図つています。

これによつて、医療費や介護保険事業の負担軽減に努め、結果的に村民の快適な生活につなげるものです。これは、自然にやさしい、人間にやさしい農業であつたり、山であつたり、社会教育活動です。

村の面積の約9割が山林原野で、先人が苦労して育てくれた山林があります。村が所有する植栽された杉林は、約1500ヘクタールとなつています。この内、40年から60年になる杉林が約半分です。



やまふじ温泉等の使用料が免除されます
(やまふじ温泉の入浴料は対象外です)

なお、令和3年度予算案における詳細については、後ほどご説明します。

将来的には、道路や橋を含む公共施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や保育園、診療所、老人ホーム、公営住宅、アパート等の建設や簡易水道の整備、農業集落排水、公共下

水の事業統合・再編を計画しております。

ルは、下草刈りをして、沖田面地区の15ヘクタールの山に植林をします。

翌年は、大林と沖田面地区の15ヘクタールずつの山の下草刈りをして、小沢田地区の15ヘクタールの山に植林をします。

このように毎年、新しい地区に植林をし、下草刈りをし、除伐作業をし、間伐をして、100年続けると1500ヘクタールになり、これで一巡することになります。

このように毎年、新しい地区に植林をし、下草刈りをし、除伐作業を蓄積量が一番多いという報告がありますので、村の杉の育成と活用につて、地球温暖化や異常気象による災害の防止などに貢献していくものです。

また、山に捨てられていた曲がった木や細い木については、バイオマス発電やバイオマスボイラに活用するチップ等の検討をするものです。用材の部分については、秋田の極上品としてのブランド化を図つてい



上小阿仁村の森林認証材

てていきますので、作業が追いつかないことが予想されます。しかし、作業規模や需要促進をしながら、毎年、計画的な事業が可能になれば、村にもたらす雇用と経済効果は計り知れません。

木の種類としては、杉による炭素蓄積量が一番多いという報告がありますので、村の杉の育成と活用につて、地球温暖化や異常気象による災害の防止などに貢献していくものです。

この計画は、将来を見据えた循環型の再生可能な村の森林経営計画となります。国は、2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロにするための「森づくり」を宣言しましたので、合わせて、萩形ダムの水利用が考えられます。

平成26年に萩形ダムの下に水力発電所が完成しましたので、小阿仁川に水がコンスタントに流れてくるようになりました。

昔、大錠地区（南沢の上流）には民間の水力発電所がありました。この水は、八木沢の頭首工からトンネルを流れて、大錠地区で小阿仁川に落下して、発電がされておりました。

これらを再び利活用することで、発電ができれば村の雇用拡大につながってまいります。

何もないところからあるものを作り出すのは難しいわけですが、たくさんあるもの、村にしかないものからいろいろなものを作り出すことについて、対応しやすく、上小阿仁村は、そのための歴史と技術を持っています。

また、事業推進にあたり、知識がなければ、知識のある人に教えてもらうこと、やれる人にお願いすることが大切だと思っております。

ひとりの力は、小さいものですが、ふたりになれば、二倍ではなく、三倍にも四倍にもなると確信しております。

山村や水力発電の復活による化石エネルギーから自然エネルギーへの

転換は、村に眠っているたくさんの資源による産業おこしとなり、「上小阿仁版ニューディール政策」として、日々の目を見るための努力をしな

くものです。

これによつて、山で生産されたものは、何一つ無駄になることなく利用されます。

国は、2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロにするための「森づくり」を宣言しましたので、合わせて、萩形ダムの水利用が考えられます。

そして、民間でできることは、民間で対応することが、結果的に将来の上小阿仁村や村民のためになると信じております。

何もないところからあるものを作り出すのは難しいわけですが、たくさんあるもの、村にしかないものからいろいろなものを作り出すことについて、対応しやすく、上小阿仁村は、そのための歴史と技術を持つております。

また、事業推進にあたり、知識がなければ、知識のある人に教えてもらうこと、やれる人にお願いすることが大切だと思っております。

ひとりの力は、小さいものですが、ふたりになれば、二倍ではなく、三倍にも四倍にもなると確信しております。

村民のみなさんの力と知恵をお借りして「人にやさしい、健康で安心して生活できる村」を一緒に創つてまいりますので、ご支援とご協力を

お願い申上げます。



除伐後の村有林

100年後には、15ヘクタールずつの1年生から100年生までの山林が、1500ヘクタールとなり、毎年、100年生の木材とそれぞれの間伐材を生産することとなります。このようにするために、毎年、15ヘクタールずつ各種作業が増加し

ければならないと思つております。事業については、その実行と効果の段階で、卵が先か鶏が先かの議論はあります。が、民間でできない部分については、行政が先行投資をしながら、民間の応援をすることだと思います。

3月定例会

行政報告要旨

令和2年度補正予算について

今定例会提出の一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、基金積立金などの追加により341万6千円を増額する補正で、補正後の総額は28億5599万7千円となります。

人事関係について

本年度末の定年退職者はゼロで、来年度における再任用職員は6名となつております。

新規採用については、先に実施した職員採用試験の結果、1名が合格し、4月1日からの採用としております。

また、令和3年度から令和5年度までの3年間、秋田県後期高齢者医療広域連合（秋田県市町村会館）に職員1名を派遣いたします。

職員の職域も拡大しているなか、新型コロナウイルス感染症対策の業務により、さらに業務負担が増しておりますが、村民の安全安心を守るために職員一丸となつて取り組んでまいります。

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊については、令和2年9月23日から11月30日まで公募したところ、関係人口コールディネーターとして3名の方から応募がありました。

書類による1次審査を経て、リモート方式による面接を実施した結果、2名を採用することに決定しております。

今後は、村の魅力やイベント情報の発信、移住体験ツアーや企画など業務にあたつていただくことになりますが、就任の時期については転職のための整理や住居等の準備など、活動ができる環境を整えたうえで決定しております。

消防・防災関係について

1月26日の文化財防火デーを中心に行開している防火運動に合わせて、1月23日、沖田面集落の福昌寺において消防訓練を実施いたしました。訓練には、沖田面地区自主防災会をはじめ、村消防団第一、第二、第三分団、消防署上小阿仁分署職員が参加し、福昌寺からの火災を想定した通報、初期消火、文化財の搬出、分署と消防団の中継放水などの一連の行動を行い、消防体制の強化と地域住民の防火意識の高揚を図ること

ができました。

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

2月5日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例議会が開催され、令和3年度予算等について審議しております。

令和3年度予算については、総額8509万8千円で、前年度当初予算と比較して197万3千円の減額となつております。

村の負担金についても625万5千円で、24万7千円の減額となつております。

減額の主な理由は、長下処分施設の修繕工事によるものであります。長下処分場の粗大ごみの受け入れについては、12月末現在166トンで、内訳は自己搬入粗大ごみ141トン、家屋解体材18トン、市村収集粗大ごみ4トン、クリーンアップごみ等3トンとなつており、家屋解体材の搬入量の減により、前年同期と比較して全体で21トンの減少となつております。

新型コロナウイルスワクチンの接種について

新型コロナウイルスワクチン予防接種については、短期間に集中的に接種する必要があることから、全戸的な組織として新型コロナワクチン接種プロジェクトチームを設置し、情報収集、接種体制の構築、接種準備を進めております。

現時点で5月上旬から実施予定の高齢者の接種に向け、役場内に専用

し尿処理について

し尿及び浄化槽汚泥の処理については、令和2年度より北秋田市周辺衛生施設組合の解散に伴い北秋田市の、し尿処理施設に委託しております。

健康づくり事業・介護予防事業について

予防接種については、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えるため、10月から季節性インフルエンザ予防接種の助成範囲を16歳から65歳未満の村民に拡大しておりましたが、更に追加措置として、今年度季節性インフルエンザワクチンを接種した全村民を対象として自己負担分の全額助成を行っております。

の窓口を設け、予約受付や相談対応に当たることとしております。

接種は、集団接種を基本とし、接種会場は生涯学習センターで集落単位での送迎バスを計画し、高齢者施設等には訪問接種も予定しております。

高齢者の2回目の接種は5月末まで、全村民を対象とした接種は、ワクチンの入荷状況にもよりますが7月末までには終了する予定としております。

年金生活者等支援福祉給付金事業について

令和3年度より、新規事業として、公的年金等の収入や所得額が一定額以下の年金生活者の生活支援を目的とした「年金生活者等支援福祉給付金」を当初予算に計上しております。国が給付する年金生活者給付金制度の支給要件に該当する方に対し、1人年額1万2千円給付するものであります。

米の生産目安について

令和2年11月6日に秋田県農業再生協議会臨時総会が開催され、秋田県の令和3年産米における「生産の目安」が決定されました。前年と比較して数量で1万5千ト

ンの減少、面積換算で2854ヘクタールの減少となつております。

本村においては、令和3年1月20日に村農業再生協議会臨時総会が開催され「生産の目安」について、昨年と比較して数量で42トンの減少、面積換算で9・53ヘクタールの減少で承認されております。

また、令和2年産米につきましては、目標換算面積272・08ヘクタールに対して、実際の作付面積は257・18ヘクタールで14・9ヘクタール下回っており、「生産の目安」を達成しております。

森林環境譲与税について

森林環境譲与税は、森林の整備に関する施策や森林の整備を担うべき人材の育成・確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進、その他の森林整備の促進に関する施策を目的として令和元年度から交付されており、令和3年度は1563万4千円が交付される見込みであります。

本村では、この譲与税を活用して森林所有者の意向調査を進めており、この結果を基に間伐等の森林整備を計画することになりますが、早期に着手できるよう準備を進めてまいります。

地域連携DMO形成事業について

大館市、北秋田市、小坂町、上小

阿仁村が会員となり事業を進めている秋田犬ツーリズムでは、今年度事業として、体験予約システム「アクトイビティージャパン」の活用によるアフタークロナを想定した外国人旅行客の誘客、今年度設立された「北秋田市・上小阿仁村まるごと体験推進連絡会」による農家民宿開業に向けた活動、デジタル街歩きマップの作成、観光コンテンツの磨き上げなどを実行しております。

旅行客の誘客、今年度設立された「北秋田市・上小阿仁村まるごと体験推進連絡会」による農家民宿開業に向けた活動、デジタル街歩きマップの作成、観光コンテンツの磨き上げなどを実行しております。

学校教育関係について

令和3年度の上小阿仁小学校児童数は、10人が卒業し、8人が入学しますので、今年度より2人減の51人となる予定です。

また、上小阿仁中学校の生徒数は16人の卒業に対し10人が入学しますので、今年度より6人減の27人となる予定です。

なお、学級数につきましては、「義務教育学校学級編制基準」により小

学校4・5年生が複式学級となりますので、小学校は普通学級が5学級、特別支援学級が1学級のあわせて6学級、中学校は普通学級が3学級、特別支援学級が1学級のあわせて4学級となる予定です。

国保診療所関係

昨年4月から今年1月までの診療

状況は、医科外来が診療日数198日、患者数5567人、1日平均患者数は29人となつており、昨年と比較して1日平均では1人減となつております。

歯科は診療日数180日、患者数846人、1日平均患者数は5人となつており、昨年と比較して1日平均では同数となつております。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の回避に向け、ワクチン確保や各集落への送迎バス運行に取り組んだ結果、診療所でインフルエンザ予防接種を受けた方は698人で、昨年に比べ74人の増となつております。

なお、学級数につきましては、「義務教育学校学級編制基準」により小学校4・5年生が複式学級となりますので、小学校は普通学級が5学級、特別支援学級が1学級のあわせて6学級、中学校は普通学級が3学級、特別支援学級が1学級のあわせて4学級となる予定です。